2026年11月12日

各　　位

会社名　株式会社七十七銀行
代表者名　代表取締役頭取　小林　英文
（コード番号 8341 東証プライム・札証）
問合せ先　上席執行役員総合企画部長　田邉　茂
（TEL 022-267-1111）

剰余金の配当（増配）および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当行は、本日開催の取締役会において、2026年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を下記のとおり行うことを決議するとともに、期末配当予想を修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1．剰余金の配当（中間配当）の決定内容

	決定額	直近の配当予想 （2026年5月13日公表）	前期実績
基準日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
1株当たり配当金	60円00銭	52円00銭	113円00銭 ※
配当金総額	13,469百万円	－	8,455百万円
効力発生日	2026年12月9日	－	2025年12月9日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

※2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前期実績については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2．期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
基準日	第2四半期末	期末	合計
前回予想	52円00銭	52円00銭	104円00銭
今回修正予想		60円00銭	120円00銭
当期実績	60円00銭		
前期実績 （2026年3月期）	113円00銭 ※	147円00銭 ※	260円00銭 ※

※2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前期実績については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3．理　由

当行は、銀行業としての公共的性格と経営の健全性維持等を考慮し、財務基盤の強化を前提として、累進的配当により、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を2027年度までに40%以上に引き上げるとともに、機動的な自己株式の取得により、株主利益と資本収益性の向上を目指していくこととしております。

上記の基本方針のもと、業績等を総合的に勘案した結果、中間配当につきましては、直近の配当予想から1株当たり8円の増配とし、60円とすることといたしました。また、期末の配当予想につきましても、1株当たり52円から60円に修正することといたしました。これによりまして、中間配当金を含めました当期の年間配当金は1株当たり120円、業績予想に基づく配当性向は38.2%となる予定です。

引き続き、株主還元方針に基づく適切な株主還元に努めてまいります。

以　上